

国道4号《金ヶ瀬拡幅》

「国道4号 金ヶ瀬拡幅」が、  
平成30年11月18日(日)に4車線で全線開通します！

国土交通省が整備を進めてまいりました一般国道4号「金ヶ瀬拡幅」について、刈田郡蔵王町地内の0.8kmが11月18日(日)に4車線で全線開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

今回の全線開通により、白石市から仙台市間における唯一の2車線区間が解消し、4車線化が完成します。

《今回の開通による主な整備効果》

- 交通混雑の緩和  
(白石中心部～仙台間の唯一の2車線区間が解消し、交通混雑が緩和)
- 安定的な交通確保  
(荒天時の東北自動車道通行止め時にも、安定的な交通を確保)
- 速達性・走行性が向上  
(県南地域の救急救命センターへの、速達性や走行性が向上)
- 物流の効率化を支援  
(ボトルネック箇所の解消により、企業活動の効率化を支援)

1. 開通区間

刈田郡蔵王町宮字海道 東堀添～刈田郡蔵王町宮字 柵山 延長0.8km

2. 開通日

平成30年11月18日 日曜日

※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします。

<記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、白石記者クラブ>

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL 022-248-4131  
副所長 遠藤 雅司 (内線205)

仙台河川国道事務所のホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/>

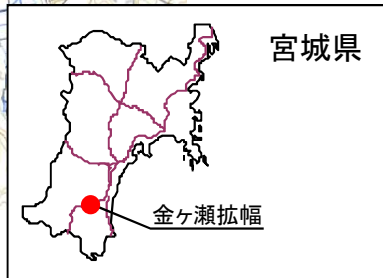
# かながせ 金ヶ瀬拡幅 位置図

## 金ヶ瀬拡幅 延長3.7km



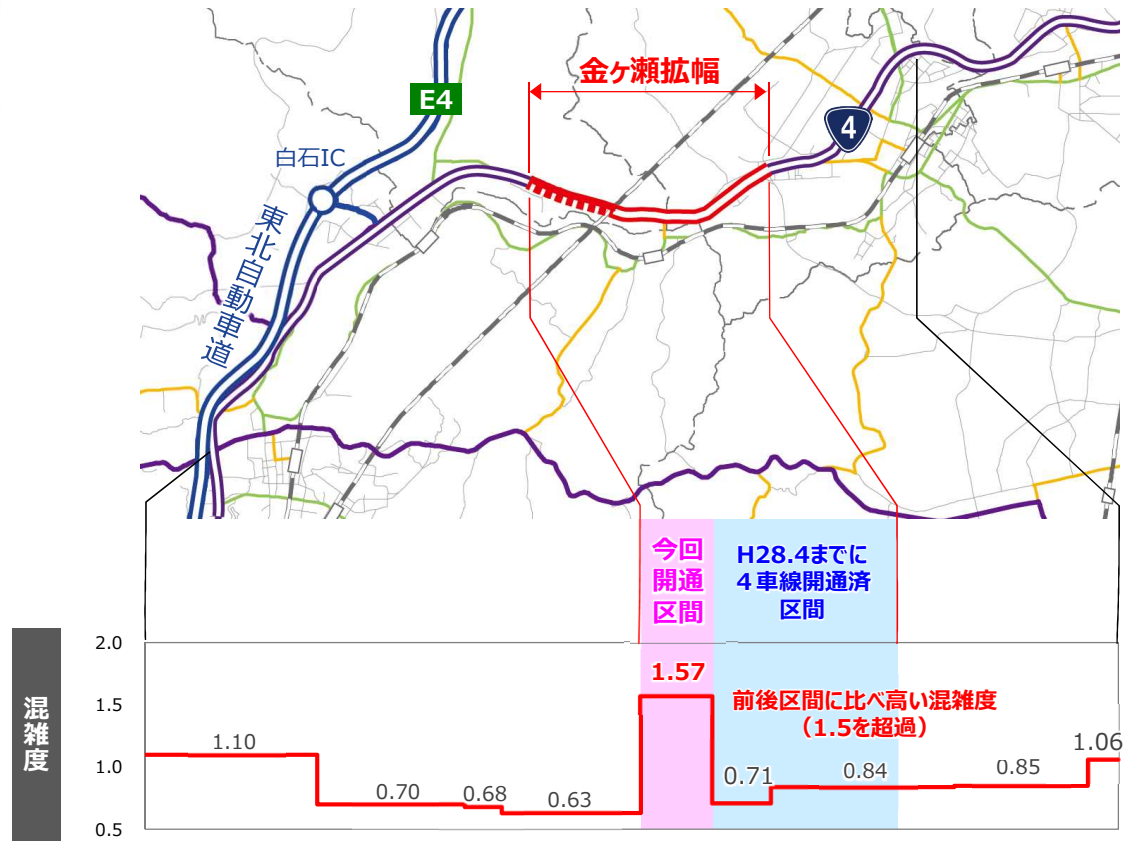
4車線開通済  
事業中

この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30東複、第23号)



# [金ヶ瀬拡幅] 白石市中心部～仙台市間の唯一の2車線区間解消により交通混雑緩和

- ◆ 事業区間は、白石市中心部～仙台市間唯一の2車線区間であり、混雑度は1.5を超過【交通容量に対し過大な交通量が通過している状態】。
- ◆ 金ヶ瀬拡幅の整備により、交通容量が拡大し、混雑が緩和することから、白石市中心部～仙台市間の円滑な交通を確保。



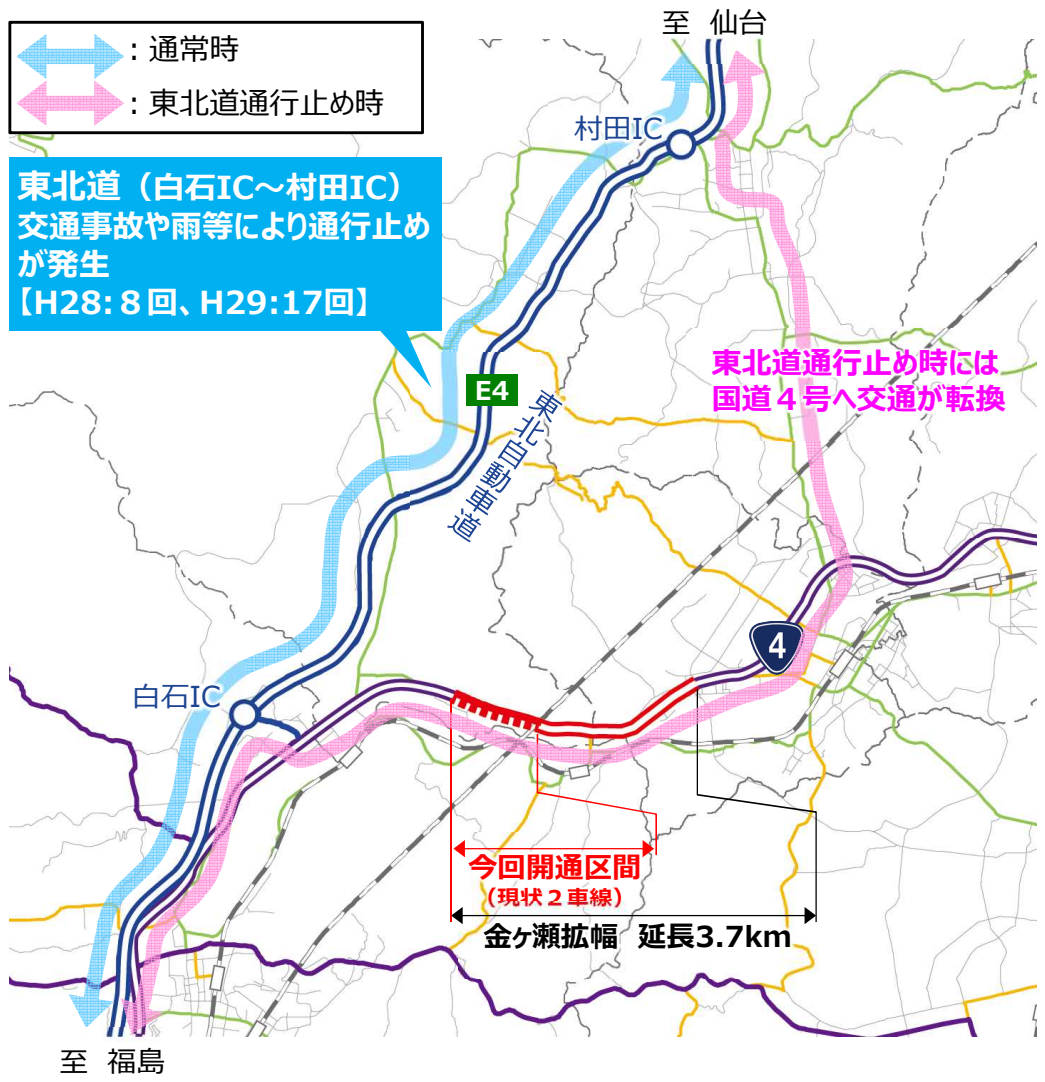
混雑度【(昼間12時間の実測交通量×大型車混入による補正值)/昼間12時間の設計交通容量】

- 1.00以下 : 円滑に走行可能
- 1.25～1.75 : ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態
- 1.75～2.00 : 慢性的混雑状態。昼間12時間のうち混雑する時間帯が約50%に達する
- 2.00以上 : 慢性的混雑状態。昼間12時間のうち混雑する時間帯が約70%に達する

資料：H27全国道路・街路交通情勢調査  
 ※H28.4までに4車線開通済の区間の混雑度は、隣接の4車線区間の交通容量を用いて算出

# [金ヶ瀬拡幅] 東北自動車道通行止め時の安定的な交通確保

- ◆ 事業中区間に並行する東北自動車道白石IC～村田IC間での通行止め発生回数は過去2年間で25回。県内の東北道で2番目の多さ。
- ◆ 通行止めが発生すると、東北自動車道から国道4号へ交通が転換し、2車線区間において著しい速度低下が発生。
- ◆ 金ヶ瀬拡幅の整備により、東北自動車道通行止め時の代替路線として安定的な交通流動を確保。

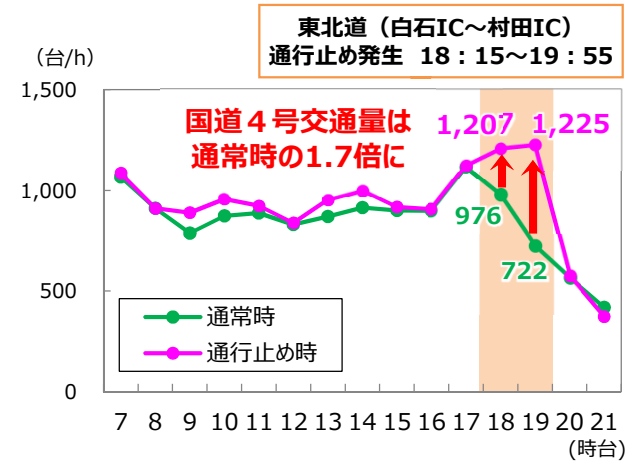


▼東北道での通行止め発生回数 (過去2年間)

区間	通行止め発生回数
村田JCT～仙台南IC	29
<b>白石IC～村田IC</b>	<b>25</b>
村田IC～村田JCT	23
仙台宮城IC～泉IC	21
国見IC～白石IC	19
若柳金成IC～一関IC	16
大衡IC～古川IC	15
仙台南IC～仙台宮城IC	11
古川IC～築館IC	9
大和IC～大衡IC	9
泉IC～大和IC	7
築館IC～若柳金成IC	6
福島飯坂IC～白石IC	3
富谷JCT～大和IC	2

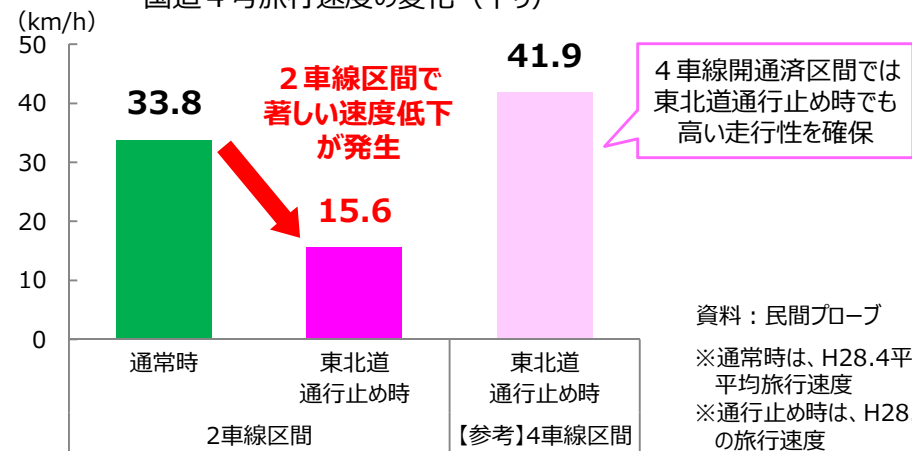
資料：NEXCO東日本 (H28.4～H30.3)

▼東北道通行止め時の国道4号交通量の変化 (下り)



資料：トラカンデータ  
 ※通常時は、H28.4平日の平均交通量  
 ※通行止め時は、H28.4.11の交通量

▼東北道通行止め時の国道4号旅行速度の変化 (下り)



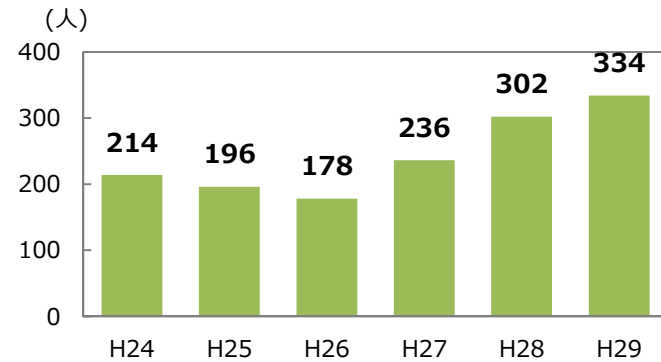
資料：民間プローブ  
 ※通常時は、H28.4平日 (19時台) の平均旅行速度  
 ※通行止め時は、H28.4.11 (19時台) の旅行速度

# [金ヶ瀬拡幅] みやぎ県南中核病院への速達性・走行性向上

- ◆ H25.2にみやぎ県南中核病院に救命救急センターが開設、県内6か所目の救命救急センターとしてH26.7に指定。
- ◆ 白石市からみやぎ県南中核病院への救急搬送患者数は増加傾向であるが、2車線区間ではスムーズに追い越しができない等、救急搬送上の支障が生じている。
- ◆ 金ヶ瀬拡幅の整備により、蔵王町南部や白石市からの救急搬送において、速達性や走行性の向上が期待。



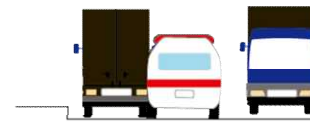
▼白石市からみやぎ県南中核病院への救急搬送患者数



資料：みやぎ県南中核病院ヒアリング結果  
※ドクターヘリでの搬送は除く

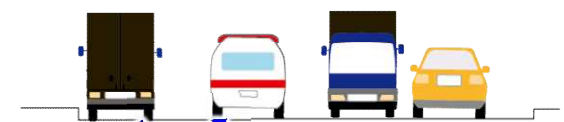
▼救急搬送のイメージ

【2車線時】



混雑時等に救急活動を阻害する場合も

【4車線時】



スムーズに追い越しが可能になり  
迅速な救急活動が可能に

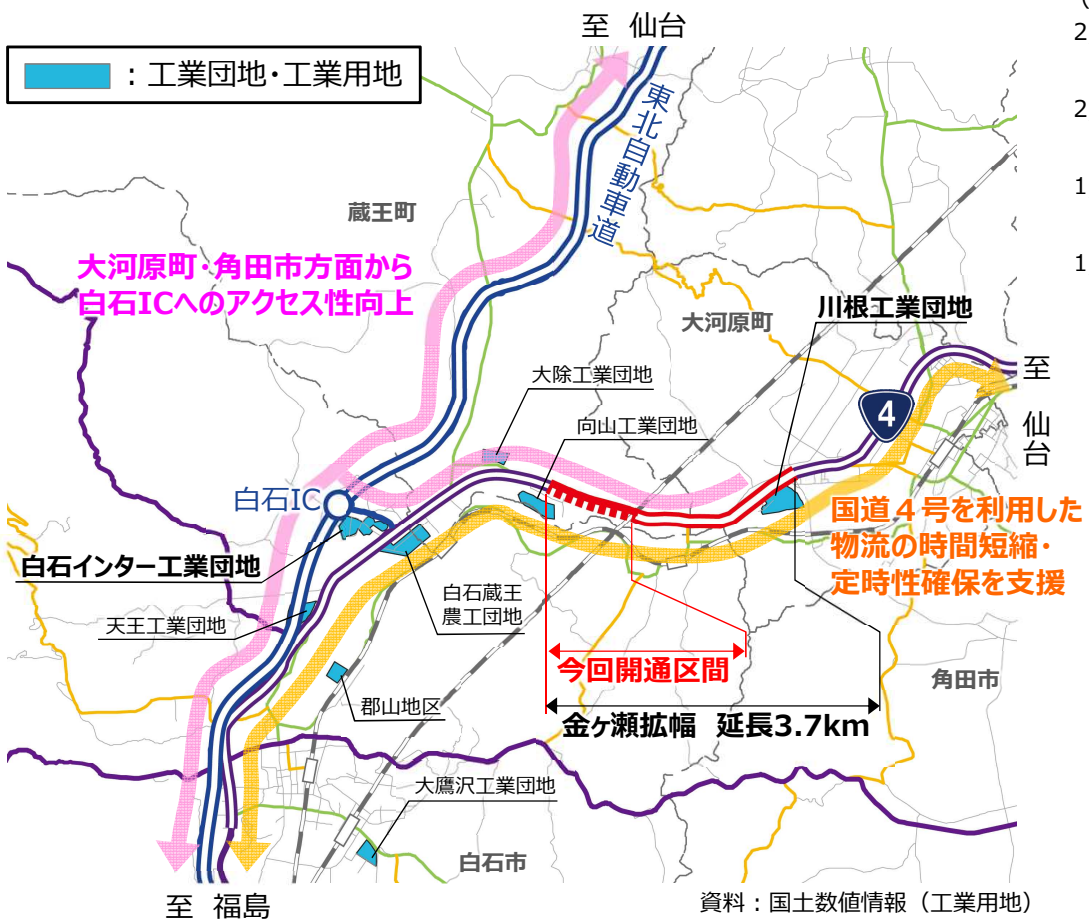
## 【仙南地域消防本部の声】

- ・片側1車線だと一般車両が左右バラバラに避けるため、**追越し時にまっすぐに進めない**ことがあります。
- ・部分開通区間では、片側2車線になったことにより、走行車線側に避けてくれ、**スムーズに道を譲ってもらえる**ようになりました。救急車は追越車線側をまっすぐに走行できるようになり、運転手の負担がかなり軽減しています。また、**ブレーキ、加速等の動作減少に伴い、患者さんへの負担軽減**にも寄与しています。
- ・白石市～みやぎ県南中核病院への搬送時間は、H25以降短縮傾向であり、**金ヶ瀬拡幅の部分開通による渋滞緩和、走行性向上**が一因になっていると考えられます。

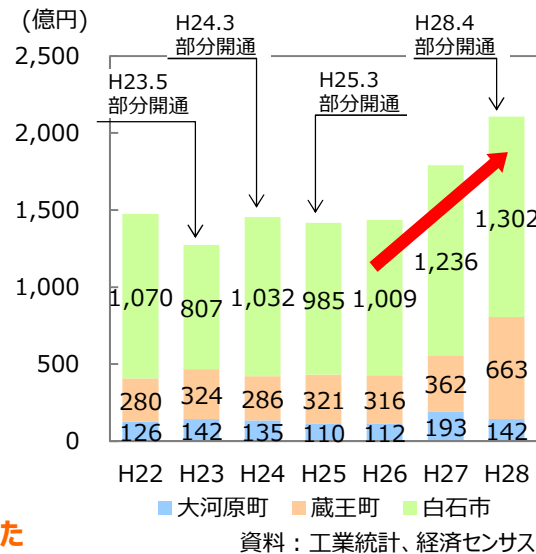
(H30.9ヒアリング結果)

# [金ヶ瀬拡幅] 周辺立地企業の物流効率化を支援

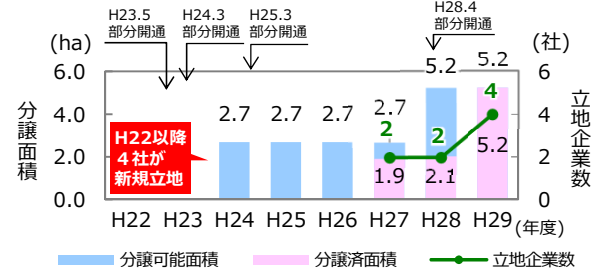
- ◆国道4号沿線には川根工業団地、白石インター工業団地等が位置しており、近年新規企業立地も進行【分譲率は概ね100%を達成】。沿線市町の製造品出荷額は増加傾向にある等、周辺の企業活動は堅調に推移。
- ◆国道4号は、製品の出荷や材料・部品の入荷時の輸送ルートとして利用されているが、2車線区間における交通混雑等が物流上のボトルネックとなっている。
- ◆金ヶ瀬拡幅の整備により、ボトルネック箇所が解消され、沿線企業の企業活動の効率化を支援。



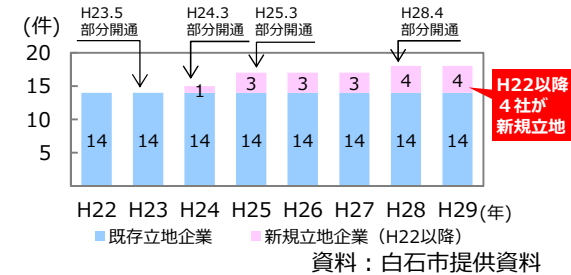
▼沿線市町の製造品出荷額の推移



▼川根工業団地分譲状況の推移



▼白石市内工業団地の企業立地動向



## 【川根工業団地(大河原町)立地企業の声】

- ・北関東方面への製品出荷時に**国道4号～白石IC**を利用しています。
- ・金ヶ瀬拡幅の**これまでの4車線化整備により、5～10分の時間短縮**となっています。
- ・全線4車線化により、**既存の2車線区間での混雑が解消するほか、東北自動車道通行止め時の渋滞回避等**が期待されます。(H30.10ヒアリング結果)

## 【白石インター工業団地(白石市)立地企業の声】

- ・仙台方面への製品出荷時に**国道4号**を利用しています。
- ・金ヶ瀬拡幅の**これまでの4車線化整備により、混雑の緩和・定時性の向上**につながっていますが、2車線区間が残っているため、**冬の走行性低下や通行止めによる輸送遅延・作業計画の遅れが懸念**されます。全線4車線化により、**安定した納品が可能**になる等、**作業計画への影響緩和**が期待されます。(H30.10ヒアリング結果)